



特集号

# せなみ まちづくり通信瀬波

## 活気・にぎわいのある瀬波へ

私たちの瀬波地域は、以前から地域活動が熱心に行われてきた地域です。

港町として栄えた瀬波町を中心に、農村集落や瀬波温泉がうまく連携してきました。さらに緑町や松原町の新しい住宅地が加わり一層地域の魅力が多様になっています。

さて、今年度から市全域で「市民協働のまちづくり」がスタートしました。それぞれの地域が取り組むまちづくりの活動を、市が交付金を出し支援するものです。

### ●瀬波にはまちづくりの先例あり

今から40数年前、中学生の行動を健全な方向に持っていこうと、父母だけでなく地域全体で行動を起こしたのが「青少年健全育成会」のスタートでした。今も一貫している考えは、“非行の監視ではなく、若者のあふれるエネルギーを正しい方向に向けさせる活動を通しての健全育成”です。そして地域の人と一緒に参加する仕組みになっていることです。(本協議会 石井秀逸会長)

表紙の写真は青少年健全育成会主催のキックベースボール大会の様子です。このほか春はオリエンテーリング大会、秋は瀬波地区一周駅伝大会、冬は百人一首かるた大会など同会の活動は、青少年の健全育成とともに町内

(集落)や地域の連帯感づくりに大きな役割を果たしています。

### ●地域の取組みを知ろう

今号では、瀬波地域のまちづくり支援制度と支援認定を受けた事業を紹介します。また、地域の現状を知るため、行事や活動を紹介します。

案外、隣の町内(集落)の活動状況が分からないことがあるものです。まちづくりは足元をしっかりと見つめることから始めましょう。

### ●無理せず、できることから始めよう

それぞれの町内(集落)や団体で、まちづくり(地域づくり)について話し合い、できることから無理せず取り組んでいきましょう。

# 一人ひとりがまちづくりの主人公です

今春、「世代を超えて、仲が良く、魅力と活気あふれるまちをつくろう」をスローガンに活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会が設立されました。

本協議会では、瀬波地域の特色やコミュニティを大切にしたい取り組みを行うとともに、最も身近な町内（集落）の行事や活動を支援します。

また、まちづくり活動に取り組む団体・グループの取り組みを支援します。

## 瀬波地域まちづくりの基本方針

| 基本方針                 | 取り組みの方向性や実施する主な事業  |
|----------------------|--|
| 人と人とのふれあいのあるまちづくり    | ・ 育成会事業など地域が一体となって青少年教育に取り組む活動を充実させ、健全で豊かな心を育む事業<br>・ 瀬波盆踊り大会を拡充することで、盆踊りが地域全体における「夏の風物詩」の代名詞になるような事業                                      |
| 支え合い安全で安心して暮らせるまちづくり | ・ 健康への意識を高めるために健康講演会を支援する事業<br>・ 地域での見守り活動が安心した暮らしを支えることから、「ながらパトロール」を支援する事業<br>・ 地域の危険箇所を点検し、また、自主防災組織と協力し、住民の防災防犯意識を高めることで安全なまちづくりを目指す事業 |
| 自然と景観が調和したまちづくり      | ・ 地域が自然豊かなところであることを、肌に触れて実感する事業<br>・ 自然景観を守るための事業<br>・ 豊富な農林水産資源を利用した地産地消への取り組み  |
| 歴史と伝統文化を大切にしたいまちづくり  | ・ 瀬波の歴史を明らかにし、未来に引き継ぐ事業<br>・ 瀬波温泉潮太鼓との連携により、潮太鼓を通じた青少年の伝統文化継承に協力   |

## 支援制度のご紹介

市が新たに平成24年度から実施する、各まちづくり協議会への交付金制度により、当地区の活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会には、今年度約400万円が交付されます。

本協議会では、交付金を大いに活用するため、【1】これまで行ってきたさまざまな取り組みを支援する（各町内（集落）支援事業）。【2】団体や地域の新たなまちづくりの取り組みを支援する（まちづくり推進事業）制度をつくり、取り組みを支援します。

なお、【2】まちづくり推進事業は、年度途中でも申請ができますのでご検討ください。

### 【1】各町内（集落）支援事業

| 支援事業メニュー                      | 具体的な内容  |
|-------------------------------|---|
| 地域交流支援事業                      | 納涼祭や運動会など、各町内（集落）住民が集い、交流できる事業に対して支援                              |
| 地域の茶の間支援事業                    | 「地域の茶の間」に対して、年1回市保健師の健康講座を開催することを条件に登録人数に応じた支援                    |
| 環境美化運動支援事業                    | 各町内（集落）で実施している町内清掃や環境美化運動に対して支援                                   |
| 地蔵様支援事業<br>左義長支援事業<br>百万遍支援事業 | 左義長、地蔵様など昔から受け継がれている伝統文化・行事を大切に、住民の意識として共有することで、次世代へつなげていく取り組みを支援 |

### 【2】瀬波地域まちづくり推進事業

| 支援事業メニュー  | 具体的な内容   |
|-----------|--|
| まちづくり推進事業 | 2年を超えてまちづくり活動に取り組む団体が、まちづくり活動の拡充を図るために行う事業や、各種団体が提案する新たな事業 |
| これから一歩事業  | これから主体的なまちづくり活動の第一歩を踏み出そうとしている団体が行う事業                      |

## 地域内の行事や活動紹介



### 子どもみこし町内をねり歩く ~緑町一丁目夏祭り~

8月11日午後、子ども35人、役員と保護者20人が集まり、出発式。「みこし」は、こもかぶりの酒樽を美しく飾りつけたもの。高橋区長から「待ちに待った日がやってきました。仲よく元気にみこしを引いて賑やかな夏祭りにしましょう」の挨拶を合図に、元気よく引き始めました。「ワッショイ」の声が響くと家々ではみこしを出迎え自然と人と人との交流が生まれる。町内ができて40年、祭りの伝統がない町内に、子どもみこしを起爆剤にして大人の納涼祭と結びつけた行事は、町内の絆を強めています。

### 気迫あり 潮太鼓

メンバーは、子ども19人、大人12人の31人。観光案内物産センター2階を会場に週1回、夜2時間稽古しています。厳しい指導に真剣に向き合う姿はカッコイイ。

「潮太鼓は、昭和55年から活動していますが、年々メンバーも増え、地域のイベントには欠かせないものになりました。後継者や稽古場の確保など課題はありますが、社会教育の一環としても子どもたちへの指導・育成ができればと思っています」と澤会長。

地域に根付いたこの伝統文化を残していくにも、さまざまな面からのサポートも必要です。



### 地蔵様の日 (7月23日)

この行事は毎年子どもたちの健やかな成長を願って各町内にあるお地蔵様を巡りお詣りする日です。子どもたちが中心となって小学生から中学生まで皆が一緒になり、近年は親御さんも加わり準備（ヨシズ小屋作りや提灯飾り等）から後始末まで行われています。この行事を通して後輩への思いやりや先輩への尊敬の念が自然と身に付き、お互いの「絆」が作り上げられ、更には子どもたちの



自主的な行動、協調性等が育まれる意義深い場の一つでもあります。

### 三面川右岸の4集落、合同でプール清掃

羽下ヶ淵地内に、アクアセンタープールがあります。このプールは下渡地内にし尿処理場を建設する際、川で遊泳していた4集落（下渡・羽下ヶ淵・大平・滝の前）のため設置したものです。毎年、使用前に4集落総出でプール清掃や周辺の草刈りなど協力して行っています。また、当日は夏季行事など区長や役員間の情報交換の場にもなっています。



## 平成24年度の主な支援認定事業

### 地域の長期計画を支援

#### 羽下ヶ淵・大平区

#### 「桜と茶畑の似合う里づくり事業」がスタート

羽下ヶ淵・大平区が「桜を大切にし整備する」ことや「製茶業者の皆さんと連携した茶畑造成」などの事業を中心に、今後の集落づくりの方向を「桜と茶畑の似合う里づくり」としてまとめました。この計画は、地域資源を活かしたとても良い取り組みであるとして、本協議会のまちづくり推進事業に認定されました。事業としては、桜の除草刈りや病気枝の除去、10月には市観光協会の協力を得てお茶の上手な淹れ方を学ぶ「茶ムリエ講習会」などが行われます。



見事な茶畑から羽下ヶ淵集落を望む

### 歴史保存を支援

#### 米軍上陸記念碑と錨いかり



新田町海岸に平成7年建立の米軍上陸記念碑と後に発見された大きな上陸用舟艇しゅうていの錨いかりがあります。

碑文によれば、「米軍が昭和20年10月に突如瀬波海岸に上陸した」とあります。

瀬波は歴史のある古い町です。街並みをはじめ寺社仏閣や小路など歴史を伝えるものがたくさんあります。その中の一つが米軍上陸の史蹟です。

瀬波では、先人の足跡を大切に、未来を指向した住みよい街・瀬波を目指した、「まちづくり」に取り組んでいます。

その活動の一環として潮風に傷み出した錨いかりの補修と史蹟の保護に区長会と協力し、取り組もうと準備を進めています。

### シリーズ 輝く人 No. 1

#### 瀬波温泉二丁目

#### 池田ハマ子さん (62歳)



雨の日も、雪の日も、子どもたちと一緒に小学校に通学して35年が経過しました。私は、不審者や交通事故防止のために見守り活動を続けています。現在は道路も舗装され、スピードを出して走ってくる車も多くなっています。カーブや歩道のないところもあり交通事故が心配されます。

これからも子どもたちの安心・安全のため自分の健康に注意しながら見守り活動を続けていきたいと思ひます。



### 編集後記

編集委員が作るはじめての特集号は、「瀬波のこと・協働のまちづくりが始まったこと」などを載せましたが、うまく伝わりましたか。さまざまな意見など聞かせていただければと思います。

編集委員 (相馬正喜・小嶋幸一・細野明・小嶋三郎・村山輝穂・塚田進・斎藤要)

発行元：

活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会  
村上市瀬波上町4番1号 53-2005